

病虫害発生予察情報

9 月月報

平成 23 年 10 月 14 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2011 年 9 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	30.4	0.9	22.5	1.1	26.2	1.3	53.0	92	49.9	102
中旬	31.0	3.9	22.4	3.1	26.2	3.4	69.5	80	81.8	192
下旬	25.0	0.4	15.5	-1.4	19.8	-0.6	159.0	183	50.0	141
平均	28.8	1.7	20.2	1.0	24.1	1.4				
合計							281.5	125	181.7	143

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区大手町）

気 温：上旬は高く、中旬はかなり高く、下旬は平年並だった。

降 水 量：上・下旬は多く、中旬は少なかった。

日照時間：上旬は平年並、中旬はかなり多く、下旬は多かった。

上旬：1日から5日にかけて日本の南海上から四国地方と中国地方を縦断した台風第12号の影響で、南からの湿った空気が次々と流れ込み、曇りや雨となった。6日は気圧の谷の影響で曇りや雨となり、7日から10日にかけては太平洋高気圧に覆われておおむね晴れた。

中旬：11日から18日までは太平洋高気圧に覆われおおむね晴れたが、16日は高気圧に沿って南から湿った空気が流れ込んだため一時雨となった。19日から20日は日本海から南下した前線や南から湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨となり、20日夜は大雨となった。

下旬：21日は関東地方を縦断した台風第15号により暴風雨となった。22日は台風から変わった低気圧からのびる寒冷前線の影響で、26日は本州の南海上の停滞前線の影響でともに雨となった。その他の日は移動性高気圧に覆われておおむね晴れた。

2 作物生育概況

(1) イネ

台風15号の影響で倒伏が多くみられた。収穫はおおむね可能であったが労力がかかった。収穫時期は平年並で品質的には特に問題はなかった。

(2) 野菜

果菜類：抑制トマトは高温の影響により着果不良や裂果が多くみられた。抑制キュウリは

おおむね順調であった。ナスやピーマンは台風により枝が折れたり、傾倒したり、果実が傷つくなどの影響がみられた。定植後のイチゴはおおむね順調であるが、一部の地域で炭疽病などの病害がみられた。

葉根菜類：施設コマツナやハウスのホウレンソウの生育はおおむね順調であったが、露地のコマツナでは台風の影響で葉折れなどの被害がみられた。キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコンでは台風により茎葉が傷んだり、葉が折れたりした。一部生育の進んだものは、ダメージが大きく、収量・品質等の影響が懸念される。ネギは葉折れや傾倒がみられた。ニンジンはおおむね順調であった。

いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：収穫終は、‘巨峰’は平年と比べて 3 日遅かった。‘安芸クイーン’は、5 日早かった。‘高尾’は平年並であった。

高尾：収穫終 9 月 8 日（ - 1 日）

巨峰：収穫終 9 月 22 日（ + 3 日）

安芸クイーン：収穫終 9 月 22 日（ - 5 日）

ナシ：収穫終（始）は、いずれの品種も平年と比べて 5～8 日遅かった。

幸水：収穫終 9 月 5 日（ + 5 日）

豊水：収穫始 9 月 7 日（ + 5 日） 収穫終 9 月 22 日（ + 6 日）

稲城：収穫終 9 月 16 日（ + 8 日）

秀玉：収穫終 9 月 14 日（ + 6 日）

(4) 茶樹

適度な降雨があり、生育はおおむね順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。
果樹共通		
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
(3) 茶樹の病害虫		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
(4) 野菜の病害虫		
トマト		
黄化葉巻病	< やや多 >	発生はやや多かった。
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 多 >	発生は多かった。
キュウリ(施設)		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
褐斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ウリ類		
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ワタヘリクロノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ミカンキイロアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ピーマン		
タバコガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
キャベツ		
黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ニンジン

黒葉枯病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネキリムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

キク

黒さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。

シクラメン

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ホコリダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹

ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
モンクロシャチホコ	< やや多 >	発生はやや多かった。
トチノキヒメヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
プラタナスグンバイ	< 並 >	発生は平年並であった。

植木類

コガネムシ類

< 少 >

発生は少なかった。

(7) 島しょの病害虫

大 島：アブラナ科野菜で軟腐病の発生が多かった。

新 島：アシタバでハダニ類、バッタ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でハスモンヨトウ及びアブラムシ類、レザーファンでアザミウマ類及びコガネムシ類、ルスカスでアブラムシ類、ハダニ類及びカイガラムシ類の発生が多かった。

神津島：アシタバでバッタ類、アオバハゴロモ及びアブラムシ類、アブラナ科野菜でハスモンヨトウ及びアブラムシ類、レザーファンでチャノホコリダニ、アザミウマ類及びコガネムシ類の発生が多かった。

八丈島：作物全般でヨトウ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	9月7日	10月12日	0	0
大田市場	9月8日	10月12日	0	0
板橋市場	9月8日	10月12日	0	0
淀橋市場	9月7日	10月12日	0	0
北足立青果市場	9月8日	10月12日	0	0
小平青果市場	9月8日	10月4日	0	0
八王子北野市場	9月8日	10月4日	0	0
昭島市場	9月8日	10月4日	0	0
国立市場	9月8日	10月4日	0	0
東久留米市場	9月8日	10月4日	0	0

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法
などをお知らせしています。